２０２５年度 事業報告書

公益財団法人 トトロのふるさと基金

２０２５年度 事業報告書

公益財団法人　トトロのふるさと基金

１．公益目的事業

１－１．　土地や文化財の取得事業

ナショナル・トラスト活動を推進するために、寄付の呼びかけを積極的に行うとともに、狭山丘陵の土地等を取得する活動を行った。

（１）トトロのふるさと基金への寄付

2025 年度のトトロのふるさと基金への寄付は、585 件、20,111,210 円が寄せられ、基金の累計は総額 1,195,323,514 円に達した。

（２）トラスト地の取得

新たに次のトラスト地を取得した。

・トトロの森 65 号地　1360.60 ㎡　無償寄附（評価額 24,480,000 円）、諸経費 280,080 円
2025 年 4 月 7 日取得

・トトロの森 66 号地　771.70 ㎡　無償寄附（評価額 3,397,057 円）、諸経費 428,000 円
2025 年 4 月 7 日取得

（３）新たなトラスト地の取得を目指した活動

地権者等への訪問及び連絡等を行った。以下、例示。

・入間市宮寺 55 ほかの現地調査及び地権者と打合せ（4 月 30 日ほか）
・瑞穂町農業委員会事務局との打合せ（6 月 11 日ほか）
・所沢市三ヶ島一丁目 456 の地権者と打ち合わせ（12 月 25 日ほか）

（４）土地等取得検討委員会の開催

土地等取得検討委員会を 1 回開催した。

・2025 年 9 月 27 日　入間市宮寺の山林　1 件の案件を検討

１－２．　里山管理事業

１）里山の管理の実践（里山部会事業）

トラスト地の適正な管理を実践するとともに、狭山丘陵の里山の管理に関して関係団体や行政との協働を進め、地元の農業者との連携を図りながら、地域住民や都市住民を主体とした里山の保全管理活動を行った。

（１）トラスト地等を活用して行う里山管理の実践

2 号地、チカタの森(3･15･48 号地)、4 号地、17 号地、葛籠入の森（20・21・26 号地)、葛籠入湿地（51 号地)、狭山湖北の森（22･29･38･50･53 号地)、狢入の森（6 号地)、30 号地、47 号地、57・61 号地、泉の森（44・54・55・59・62 号地）において、毎月第一日曜日と第三木曜日の定例活動日および臨時活動日に「トトロの森で何かし隊」(2026 年 3 月末時点 229 名）のメンバーによる定期的な管理作業を行った。うち、17・チカタ・30・47 号地は協力団体と合同で管理作業を行った。

チカタの森（3･15･48 号地)、北野の谷戸（7･11･16･32 号地)、12 号地、砂川不動橋（14・27・42 号地)、17 号地、葛籠入の森(21 号地)、24 号地、30 号地、37 号地、43 号地、46 号地、芋窪の森（47 号地)、49 号地、53 号地、58 号地は協力団体（2026 年 3 月末時点 16 団体）による管理作業が行われた。

活動回数は合計 138 回、参加延べ人数は 1504 人となった。

その他、必要に応じて、チェンソー等の動力機械を使用するトラスト地管理作業チームによる作業、業務委託による危険木・越境木の除去等を行った。

① 「トトロの森で何かし隊」の活動

a．トラスト地の管理作業を以下の日程で行い、活動回数 23 回、参加延べ人数 308 人、平均参加人数は、休日定例作業 18 人、平日定例作業 12 人となった。

日	場所	内容	人数	全数
4 月 6 日	22・29・38 号地	外来種駆除・竹の片付け	16	16
4 月 17 日	4 号地	竹林整備	12	12
5 月 4 日	54・62 号地	竹林整備	26	26
5 月 15 日	2 号地	萌芽更新地管理・残渣整理・下草刈り	13	13
6 月 1 日	17 号地	竹林整備・線路際草刈り	20	26
6 月 19 日	6 号地	住宅際の下草刈り	8	8
6 月 21 日	20・21 号地	下草刈り・萌芽更新地管理	8	8
7 月 6 日	2 号地	萌芽更新地管理下草刈り	15	16
9 月 21 日	29・38 号地	下草刈り・外来種駆除	19	19
10 月 5 日	チカタ	下草刈り・竹林整備・残渣置き場整備	23	25
10 月 16 日	50・53 号地	外来種駆除・道沿いの整備	10	10
10 月 18 日	30 号地	笹刈り	9	11
11 月 2 日	57・61 号地	常緑樹伐採	12	12
11 月 27 日	62 号地	竹林整備	14	14
12 月 7 日	47 号地	笹刈り・広葉樹間伐	15	17
12 月 18 日	2 号地	萌芽更新地管理・下草刈り	15	15
1 月 11 日	51 号地	湿地再生	15	15
1 月 15 日	51 号地	湿地再生	11	11
2 月 1 日	57・61 号地	トトロのふるさとおおそうじ	20	20
2 月 19 日	61 号地	常緑樹伐採	13	13
2 月 21 日	20・21 号地	下草刈り	11	11
3 月 19 日	20・21 号地	下草刈り	12	12
3 月 21 日	62 号地	竹林整備	8	8

※全数は合同作業時の協力団体等の参加人数を含めた人数

b．少人数での臨時作業を以下の日程で行った。

日	場所	内容	人数	全数
2 月 4 日	葛籠入湿地	カエル産卵場づくり	3	6

c．ボランティア登録説明会を 4 月 27 日、10 月 26 日、1 月 18 日の計 3 回開催した。
（計 38 人参加、新規登録者 26 人）

d．見まわり隊によるトラスト地の見まわりを行った。

e．11 月 23 日　収穫祭を開催した。

ｆ．3 月 1 日に交流会（意見交換会）を実施した。(23 人)

② 協力団体によるトラスト地の管理作業

トラスト地の管理作業を以下の通り行い、活動回数 105 回、参加延べ人数 847 人となった。

1．チカタ集いの会（3 号地、15 号地、48 号地）6 月 14 日ほか計 1 回
2．北野の谷戸の芽会（7 号地、11 号地、16 号地、32 号地）詳細は 2-2（1）参照
3．ゆめとこファーム（24 号地）4 月 17 日ほか計 4 回
4．北中ネイチャークラブ（12 号地）5 月 18 日ほか計 8 回
5．26 緑の会（12 号地）4 月 22 日ほか計 8 回
6．17 号佐々木隊（17 号地）計 0 回
7．30 号地入間隊（30 号地、46 号地）4 月 19 日ほか計 9 回
8．37 号地ネコバス隊（37 号地）4 月 14 日ほか計 10 回
9．北野ファーム(21 号地、58 号地）5 月 16 日ほか計 8 回
10．となりの緑地を守り隊(47 号地)4 月 20 日ほか計 8 回
11．菩提樹田んぼの会（19 号地）計 0 回
12．スーパーバッグ株式会社（49 号地、58 号地）4 月 12 日ほか計 9 回
13．NPO 子どもの木（50 号地、53 号地）4 月 7 日ほか計 7 回
14．どかどかの会（17 号地）4 月 19 日ほか計 6 回
15．GFN（14・27・42 号地）4 月 12 日ほか計 7 回
16．エンゼルファーム（43 号地）1 月 17 日ほか計 3 回

③ トラスト地管理作業チームによるトラスト地の管理作業

チェーンソー､刈払機等を使用した管理作業を以下の場所で毎月 1～15 回､計 89 回おこなった。チカタの森(3・15・48 号地)、4 号地、5 号地、狢入の森(6･23･25･35･36 号地)、北野の谷戸（7・11・16 号地)、8 号地、9 号地、10 号地、12 号地、13 号地、砂川の森（市有地)、17 号地、狭山湖北の森（22･29･38･50･53 号地)、24 号地、26 号地、30 号地、37 号地、39 号地、芋窪の森(40･47 号地)、43 号地、泉の森（44･54･62・66 号地)、45 号地、56 号地、57 号地、60 号地、61 号地、65 号地

④ 案内板の設置等

12 号地の案内看板と周辺地図看板 2 枚の新設をおこなった

⑤ 企業及び地元ボランティア（協力団体以外）等の協力を得て、トトロの森の管理作業を以下の日程で行い、活動回数は 7 回、参加延べ人数 161 人となった。

日	場所	内容	人数
4 月 20 日	54 号地	都立南多摩中等教育学校　竹林整備	22
4 月 26 日	54 号地	コーセー総合労働組合　竹林整備	30
6 月 22 日	62 号地	日本環境協会こどもエコクラブ　竹林整備	24
6 月 28 日	33 号地	イオンチアーズクラブ　常緑樹伐採等	24
11 月 15 日	62 号地	日本環境協会こどもエコクラブ　竹林整備	38
12 月 6 日	26・33 号地	株式会社日本設計　常緑樹伐採	16
2 月 1 日	21 号地	都立南多摩中等教育学校 萌芽更新地の笹刈り	7

⑥ 業者委託によるトラスト地の管理作業

ａ．危険木・越境木の除去等のため、業者に委託して以下の日程で行った。

日	場所	内容
9 月 5 日～	46 号地	工場脇越境木など 9 本コナラ・クヌギ伐採
1 月 16 日～	17 号地	枯れ木 5 本と線路際シラカシ 2 本伐採、残渣処理
2 月 9 日～	39 号地	斜面下枯れ木、倒木処理
3 月 16 日～	29・38 号地	29 電線近くコナラ 1 本と 28 号地道沿い 4 本伐採
3 月 18 日～	狢入	枯れ木など 7 本伐採
3 月 19 日～	66 号地	隣接地に越境しているムクノキ 4 本伐採

ｂ.案内板の新設作業等を行った。

※今年度は新設看板 2 台納品、設置は 3 月 5 日に完了

日	場所	内容
3 月 5 日	12 号地	新設看板設置（案内は北側、地図は南側）

⑦　トラスト地管理作業チームによるトラスト地以外の里山管理活動

良好な里山景観の保全を目的に、トラスト地以外の山林や農地の管理作業を計 5 回行った。

日	場所	内容
5 月 7 日	入間市宮寺の農地	草刈り
6 月 17 日	砂川不動橋市有地	草刈り
8 月 22 日	入間市宮寺の農地	草刈り
8 月 26 日	入間市宮寺の農地	草刈り
11 月 4 日	入間市宮寺の農地	倒木 1 本片付け

（２）講習会

応急手当勉強会

5 月 25 日　熱中症・ハチ刺され・心肺蘇生法 AED 等を学ぶ勉強会を実施した。

（３）助成金の申請

所沢市みどりのパートナー活動支援事業補助金を申請

国土緑化推進機構「緑の募金公募事業」へ申請

地域環境保全活動応援事業（グラウンドワーク）へ申請

（４）チェーンソー等を用いた伐木作業等に関するマニュアル作り

チェーンソー等を用いた伐木作業等を安全に実施するために専門講師を招いて講義を受け、労働安全衛生法令基準に則った作業マニュアル作りを行った。

（５）里山部会会議の開催

里山部会会議を 12 回開催した。

4 月 4 日、5 月 2 日、6 月 6 日、7 月 4 日、8 月 1 日、9 月 12 日、10 月 3 日、11 月 7 日、12 月 12 日、1 月 9 日、2 月 6 日、3 月 13 日

２）　北野の谷戸保全活動の推進（地域保全活動部会事業）

地域保全活動部会は、2010 年度から始めた北野の谷戸保全活動を継続して実施した。復田した田んぼでの稲作、トトロの森 7 号地、11 号地、16 号地、32 号地の管理作業など、ボランティアグループ「北野の谷戸の芽会」のメンバーと地元の方々の協力を得て、北野の谷戸の里山環境保全作業に取り組んだ。

里山保全作業等の実施

4 月 20 日(日)　　水苗代準備、もみ種準備
4 月 27 日(日)　　水苗代作り、タケノコ掘り
5 月 25 日(日)　　田んぼの整備、竹林整備
6 月 01 日(日)　　代かき
6 月 07 日(土)　　苗取り
6 月 08 日(日)　　田植え
6 月 22 日(日)　　泥さらい
6 月 29 日(日)　　草刈り
7 月 27 日(日)　　草刈り
8 月 24 日(日)　　草刈り
9 月 21 日(日)　　草刈り
9 月 28 日(日)　　はざかけ作り
10 月 05 日(日)　　稲刈り
11 月 03 日(月祝)　脱穀、籾摺り
1 月 18 日(土)　　落ち葉掃き、草刈り
2 月 15 日(日)　　荒起し、泥さらい
2 月 23 日(月祝)　間伐、泥さらい
3 月 08 日(日)　　畦の修繕、駒打ち、竹林整備

（２）関係機関との連携協議

・北野南ニ丁目里山保全地域の保全活動の強化のため、所沢市みどり自然課を訪問し要望書を提出した。（７月２９日）
・小手指第 12 区との交流　地区の夏祭りに参加した。
・東京農業大学学生による北野南ニ丁目里山保全地域内で昆虫相の調査研究が行われた。
・企業ボランティアの受け入れを行った。（１０月５日　稲刈り）

（３）部会会議の開催

地域保全活動部会を 4 回開催した。
6 月 7 日、7 月 27 日、12 月 14 日、2 月 8 日

（４）その他

・活動の延べ参加人数は 242 名、米の収量は 58.8 キロだった。
・作業体験会を 3 月 8 日に実施し、4 名参加した。活動周知のため、体験会のチラシを地域に配布した。

３）　クロスケの家の活用と管理

「クロスケの家マスタープラン」のスケジュールに基づき、各部会・委員会等によって事業が進められた。また、教育機関や地域の団体等の学習の場としても活用された。

（１）一般公開

団体件数と見学者の月別内訳は下表の通りであった。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件数	5	5	3	1	0	1	7	9	1	2	2	1	38
人数	406	327	248	382	303	202	435	507	232	242	339	429	4052

※件数は団体の申込数。見学者数には一般開館・特別開館・無料開放含む
※入館料収入合計 1,453,500 円　　特別開館参加費合計 88,000 円

4 月　あかねの虹保育園、都立南多摩中等教育学校
5 月　早稲田大学スポーツ科学学術院、市立林小学校、市立三ケ島小学校
6 月　狭山ヶ丘高校、所沢若草保育園
10 月　県立芸術総合学校、所沢ひまわり幼稚園、大正大学
11 月　新栄保育園、サレジオ小学校、小手指中学校特別支援学級
12 月　東京家政大学河野ゼミ
2 月　都立南多摩中等教育学校、市立林小学校
3 月　学芸大学押井ゼミ
大学・学校・保育園等計 17 回利用

・母屋・蔵・茶工場を巡り基金の活動を知るきっかけとするための入館者向けクイズラリー実施。リピーター向けクイズラリー上級編を用意した。
・有料ガイドプログラムの特別開館は 9 回開催延べ 98 名参加
・10 月 25 日、会員・地域住民向け無料開放日 24 名参加

（２）文化財保護関連

クロスケの家管理運営委員会委員　に修繕についての意見を聴取した。
①欄間の障子張り替え、奥座敷障子張り替え（東京大学襖クラブ）
②奥座敷襖・押入れ襖計 6 枚の修理および張り替え（表具工房楽）
③12 月 20 日津村委員による建物の点検実施

（３）蔵の活用

クロスケの家特別開館の会場として活用。

（４）整備及び管理作業

①東側境界部分の竹柵設置
②樹木管理と樹木医による樹木診断実施
（蔵前シラカシ、西門シラカシ・クスノキ、ヒマラヤスギ、北側サクラ）
③入口門等の塗装

１－３．狭山丘陵の価値を広く伝えるための普及啓発事業

狭山丘陵の自然やそこに息づく文化などに関する情報を発信し、保全に向けた世論作りをすすめた。ナショナル・トラスト活動や里山保全に係る取材などに対して積極的に対応し、基金の活動への理解を促した。また、会員の増加に努めた。

（１）会員の状況

2025 年度末の登録会員は 1,262 人で、内訳は正会員 877 人、家族会員 169 人、賛助会員 53 人、こども会員 150 人、法人会員 13 社であった。前年度と比べ 3 人の減少であった。

（２）会報発行等の広報活動の充実

支援者向け機関紙『トトロの森から』を会員・寄付者に向けて発行した。
第 123 号発行　6 月 30 日
第 124 号発行　9 月 30 日
第 125 号発行　12 月 15 日
第 126 号発行　3 月 31 日

こども会員ニュースレターをこども会員に向けて発行した。
第 15 号発行　9 月 30 日
第 16 号発行　3 月 31 日

（３）狭山丘陵における体験活動の実施（詳細は、1-2　(1)　⑤参照）

企業や団体の協力を得てトラスト地の維持管理作業に取り組んだ。

都立南多摩中等教育学校（2回）、コーセー総合労働組合、日本環境協会こどもエコクラブ、イオンチアーズクラブ、日本環境協会こどもエコクラブ、株式会社日本設計

（4）ホームページの更新と運営

公式ホームページでは、イベントやボランティア情報などを定期的に更新し、閲覧状況の分析を行った。また、公式フェイスブックやInstagramを運用し、若年層へのPRに努めた。

（5）一般への広報活動

・トトロの森とクロスケの家ガイドツアー（4月27日、4月29日、7月5日、10月13日、1月18日）

・クロスケの家イベント（どんぐりトトロづくり　4月5日、11月15日、3月28日）

・出張イベント（どんぐりトトロづくり　4月27日　所沢市観光情報物産館にて）

（6）狭山丘陵フェアへの参加協力

狭山丘陵フェア実行委員会への参加　3回（6月12日、8月19日、1月13日）

狭山丘陵フェア　11月3日

団体紹介パネル展示への協力

当日出展：どんぐりトトロづくり

１－４．里山の保全に関する環境教育の実施（環境教育部会事業）

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境や歴史的景観を維持・保全することの意義や大切さを広く社会に伝えることを目的として環境教育活動に取り組んだ。また、活動拠点とするクロスケの家において、地域の方をお迎えし、所沢市三ケ島の年中行事の再現に取り組んだ。また、狭山丘陵の自然・歴史に関する資料集の編集の検討を行った。

狭山丘陵いきものふれあいの里センターをフィールドとした取り組みと、トトロの森及びクロスケの家をフィールドとした取り組みを行った。

（1）狭山丘陵いきものふれあいの里センター指定管理事業

2025年度の指定管理業務事業報告書（別紙）

（2）「総合的な学習の時間」等を活用した学校での環境教育への協力

①クロスケの家において総合的な学習の時間等への協力を行った。

4月20日・2月1日　都立南多摩中等教育学校　「トトロの森環境整備と文化財見学」

2月27日　所沢市立林小学校　社会科見学対応（古い家屋の見学・昔の暮らしについて）

②いきものふれあいの里センターにおいて、年間を通して学校に協力した。

（3）環境教育に関する講座・学習会

年中行事の再現をおこなった。

4月13日	五月人形飾り
6月28日	七夕飾り
10月 6 日	十五夜飾り
10月24日	十三夜飾り
12月13日	破魔矢・破魔弓飾り
12月25日	しめ縄飾りづくり
1月10日	小正月・繭玉飾りづくり
2月14日	雛人形飾り

（4）環境教育部会会議の開催

環境教育部会会議を3回開催した。

4 月 13 日， 5 月 17 日， 12 月 13 日

（5）三ケ島昔話

4 月 13 日、5 月 17 日に三ケ島在住の人形作家　木下雄二さんのお話し会（人形作りについてと三ケ島の昔話）を行った。

１－５．狭山丘陵における自然環境等に関する調査及び情報収集事業

１）　里山の自然環境に関する調査・研究（調査部会事業）

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境の調査研究を行い、生物多様性等に係る価値の把握に努めた。また、トラスト地の適切な管理方針策定のための提言を行った。

（１）狭山丘陵の自然環境調査の実施

・トラスト地とその周辺の動植物調査等を 27 回行った
・トラスト地における生物の生息情報を収集・蓄積した
・東京都市大学内田圭研究室における 3、5、6、14、16 号地の植生調査の協力

（２）講座・勉強会

8/9　「狭山丘陵におけるアライグマとその対策」の勉強会を実施
3/21　「東京都市大学環境学部内田圭氏によるトラスト地調査結果報告会」を実施

（３）調査部会の開催

調査部会を 3 回開催(8 月 9 日、12 月 13 日、2 月 21 日)

（４）自然環境調査報告書等の発行・協力

自然環境調査報告書第 20 集を発行

（５）管理方針の提案

56・61・63・66・(34・51・64 一帯）号地の管理方針案の提案

２）　狭山丘陵に関わる自然環境及び歴史的景観の保護並びにそれに関する情報収集活動

狭山丘陵の地域資源の保全に資する情報の収集をすすめ、必要に応じて関係自治体その他の団体との協議を行い、狭山丘陵保全のための活動を展開した。

（１）関係自治体、企業等との協議

・菩提樹池と周辺緑地に係る連絡会議に出席（会議：4 月 21 日、10 月 1 日、12 月 12 日/管理作業：6 月 20 日、6 月 21 日、2 月 14 日）
・野山北・六道山公園管理運営協議会に出席（6 月 7 日、9 月 6 日、2 月 28 日）
・宮野入保全活用計画見直し検討会に出席（3 月 7 日）
・狭山丘陵広域連絡会に出席（2 月 3 日）
・さいたま緑の森博物館保全活用協議会に出席（6 月 28 日、3 月 14 日）
・早稲田大学所沢校地 B 地区自然環境評価委員会に出席（12 月 9 日、3 月 30 日）
・新河岸川水系水環境連絡会河川懇談会に出席（6 月 4 日）
・埼玉県版 SDGs 官民連携プラットフォーム水辺空間の持続可能な環境課題解決に向けた検討部会に出席（会議：7 月 24 日/管理作業：2 月 1 日）
・東川河川維持工事（セキショウの植栽）(5 月 13 日)
・東村山市廻田町四丁目土地区画整理事業に伴うトトロの森 56 号地隣の東村山市道拡幅工事に対する要望書等提出（11 月 26 日、3 月 23 日）

（２）その他

・早稲田大学人間科学学術院との包括連携に関する調査研究の受け入れ（2 件）

・早稲田大学自然環境調査室との湿地管理協働作業（2 月 4 日）
・埼玉県みどりの活動リーダー養成講習に出席（1 月 29 日）
・西武・狭山丘陵パートナーズ野山北・六道山公園萌芽更新勉強会を実施（7 月 24 日）
・自然共生サイト認定式に出席（9 月 30 日）
・狭山丘陵マスタープラン策定に向けた市民参加型湿地調査の実施（通年）
・環境教育関東ミーティングに出席（2 月 14-15 日）
・湿地保全の事例調査のための視察を実施（10 月 17-18 日、10 月 21 日、10 月 22 日、11 月 11 日）
・ビオトープ調査報告会の開催（1 月 25 日）

１－６．その他この法人の目的を達成するために必要な事業

公益財団法人としての適切な運営のために、理事会、評議員会を開催した。また、執行部会議等を開催して的確で迅速な意思決定を行うとともに、財政等に係る課題の検討を進めた。

ナショナル・トラスト活動や里山保全を進める関係団体からの照会・相談等への対応を行ったほか、様々なメディアからの取材等への対応、丘陵案内やシンポジウムへの参加などを実施した。

その他、各事業の推進に必要な資金の一部をまかなうために、収益事業を行うとともに、各種助成金等の確保に取り組んだ。

（１）理事会及び評議員会の開催
理事会：通常理事会 2 回（5 月 24 日、3 月 15 日）
臨時理事会 2 回（6 月 8 日、10 月 19 日）
評議員会：定時評議員会 1 回（6 月 8 日）

（２）執行部会議の開催（6 回）
4 月 4 日、5 月 31 日、7 月 16 日、11 月 17 日、12 月 6 日、1 月 23 日

（３）常任理事会の開催（11 回）
4 月 27 日、6 月 29 日、7 月 27 日、8 月 31 日、9 月 28 日、11 月 2 日、11 月 30 日、12 月 28 日、2 月 1 日、3 月 1 日、3 月 29 日

（４）照会、相談等への対応及び活動広報等
基金の活動紹介と狭山丘陵の案内等を行った。

① 講演等
7 月　・東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科学生「自然ガイドについて」ヒアリング対応
8 月　・「ナショナル・トラスト市民シンポジウム 2025」にて活動報告
9 月　・日本獣医生命科学大学野生動物学研究室学生「関東地方におけるトウキョウサンショウウオの個体群生息状況調査ならびに外来生物アライグマによる捕食対策状況の調査研究」ヒアリング対応
・飯能市農林部森林づくり課「トトロのふるさと基金の取組」ヒアリング対応
・埼玉大学基盤教育研究センター　講座：狭山丘陵における地域創生
12 月　・入間市の自然を考える（狭山丘陵の保護の取り組みから）講演
3 月　・津田塾大学学芸学部多文化・国際協力学科 2 年生「環境保全と日々の暮らしの共生にはなぜ人を惹きつける力があるのか」ヒアリング対応
・北野ファーム　講座「トトロのふるさと基金の活動の経緯」

② 取材等への対応

4月　・広報ところざわ　特集記事（所沢市）
5月　・MOOK本　西武鉄道の世界（交通新聞社）
・※埼玉県広報アンバサダーINSTAGRAM（埼玉県）⇒いきふれ対応
・米国ディケーター市展示会「The Art of Japan」資料提供（所沢市）
6月　・NAVITIME JAPAN狭山丘陵紹介ページ（ナビタイムジャパン）
7月　・企画展「所沢の昭和100年」図録の昭和60年代のコーナー（所沢市）
・みんなでつくる森の未来地図（公益財団法人国土緑化推進機構）
8月　・The Japanese landscapes that inspired Studio Ghibli(BBC)
・ちょこたび埼玉「クロスケの家・トトロの森」（埼玉県物産観光協会）
9月　・埼玉県サポートデスク「狭山湖とトトロの森おさんぽコース」（埼玉県物産観光協会）
11月　・心と体が整う自然さんぽ＜首都圏版＞（JTBパブリッシング）
1月　・るるぶ埼玉27（JTBパブリッシング）
2月　・所沢市観光ガイド（所沢市）
・NHK宇都宮放送局（NHK）

③ 教材等への写真等の提供
1月　＋SAPI５年（日本入試センター）
ちょこたび埼玉特集コンテンツ（埼玉県物産観光協会）

④ 丘陵案内
4月　・東京都立南多摩中等教育学校「トトロの森54号地での竹林整備作業」丘陵案内
6月　・日本環境協会「竹林整備と自然観察会」丘陵案内
・イオンチアーズクラブ「雑木林の管理と自然観察会」丘陵案内
10月　・大正大学地域創生学部地域創生学科ゼミ生「東京近郊における環境保全、または環境教育の可能性」丘陵案内
11月　・所沢市観光情報・物産館（YOT-TOKO）主催事業ツアー丘陵案内
・日本環境協会・こどもエコクラブ・プロントコーポレーション「トトロの森における竹林整備及び環境教育」丘陵案内
・かしわ里山の会「里山の管理活動方法、整備手法」丘陵案内
・サレジオ小学校「脱穀・籾摺り体験」丘陵案内
・東京都環境局・株式会社バイオーム主催事業ツアー丘陵案内
・日本環境教育フォーラム「東京ネイチャーアカデミー」丘陵案内
12月　・東京家政大学「トトロの森の自然環境や取組について」丘陵案内
・日本環境協会「子どもたちの環境活動の充実・発展のための大人のスキルアップ研修」丘陵案内
2月　・東京都立南多摩中等教育学校「トトロの森の維持管理に関する講話およびトトロの森や狭山丘陵を歩きながらの自然観察」丘陵案内

（５）公益目的事業活動や法人会計に使用するための財源となる基本財産運用益を生む基本財産の寄付２億円を受けて、運用を2026年3月に開始した。

２．収益事業の実施

① 収益事業検討会の開催（6月3日、10月10日、11月28日、12月3日）
② 株式会社ユニオンサービスを介して、きょうされん夏カタログにてトトロファンドTシャツ（草原）（白）を、冬カタログにてマルチミニポーチ（ラムネ色）を販売した。
③ ムービック株式会社担当者と打ち合わせ（6月23日）。パーカー、Tシャツの進行や現行販売品

の状況、今後の見通しなどについてヒアリングをおこなった。

④ ベネリック株式会社を訪問し、店舗での販売状況や売り場構成について現状をヒアリングした(6月3日)

⑤ ジブリ美術館を訪問し、担当者へのご挨拶と商品のご提案、売り場視察をおこなった（11月28日）

⑥ イベント等でのグッズ販売、外部委託販売

7月12日　放送大学　東京多摩学習センター　公開講演会
8月　2日　ナショナル・トラストシンポジウム
10月17日　北打越町内会ミニ文化祭
10月25日　山口公民館文化祭
12月　3日　講演会「入間市の自然を考える　狭山丘陵の保護の取り組みから」

⑦ 2025年度新商品　マルチミニポーチ（ラムネ色）の販売開始、クロスケの家オリジナル缶バッジ２種を販売開始

⑧ 2026年度新商品の企画、商品化に向けた検討
バンダナ復刻色　※ユニオン提案品－小風呂敷、手ぬぐい、エコバッグリニューアル

⑨ オンラインショップTOTORO FUND SHOPの更新・運用のほか、商品写真の刷新を行った。
また、転売対策として利用規約を明記した。

３．法人の運営体制の充実を図るための取組

（１）当法人の公益目的事業を適切に実施するため、土地等取得検討委員会やクロスケの家管理運営委員会及び里山部会や地域保全活動部会、調査部会等を設けている。

（２）理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他業務の適正を確保するために必要な体制の整備

①理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
・全ての理事に、適宜、情報を提供し、当該情報を保存している。
・会議を欠席した理事や評議員に対しても、事後の情報提供に努めている。

②損失の危険の管理に関する規定その他の体制
・里山部会で危険木等の調査を行い損失の危険に対処する体制を整えている。
・財産運用規程を置いて適切な管理を行っている。

③理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
・常任理事会を毎月1回開催し、事業活動状況や課題を検討する体制を整えている。
・外部理事として自然保護の専門家を選任し中立的な立場から専門的アドバイスや提案を受けている。

④使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
・使用人の職務執行が法令及び定款に適合することを確保するため、現金残高の確認は2人以上で行っている。
・印章は事務規程に従って使用し、印章使用簿等で管理をしている。

⑤理事及び使用人が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制
・業務監査や会計監査に関する情報を、適宜、理事及び使用人が監事に報告している。

⑥前号の報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
・監事に報告した理事や使用人に対して不利な取扱いを受けないことを確保するように注意喚起

している

⑦監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項

・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程において費用等の支払手続きを定めている。

⑧その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

・監事に対して理事会の前に適切な情報提供を行っている。

２０２５年度

埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター
指定管理業務に係る事業報告書

自　２０２５年４月　１日

至　２０２６年３月３１日

埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター

指定管理者：公益財団法人　トトロのふるさと基金

（様式１）

２　０　２　５　年　度　事　業　報　告　書

（2025年4月1日から2026年3月31日まで）

１　管理業務の実施状況

「狭山丘陵の自然を通して自然について学習する機会を設け、県民の自然との触れ合いを推進し、自然保護思想の普及を図る」という設置目的を達成するため、自然観察会等の実施や館内展示、教育機関への環境教育支援などを行った。

また、埼玉県営繕課発注の長寿命化工事（第一期内部改修工事）が実施された。
工事期間中は、事務所や講義室、スタッフルームは使用停止になり、展示室は面積を縮小し運営を継続した。
・工事期間：2025 年 11 月 4 日～2026 年 3 月 13 日

2025 年度においては、下記の事項についてとくに配慮した管理を行った。

表1　2025 年度の新たな取り組み、充実点について

取り組み	実施内容
展示の充実	企画展やミニ展示など8件の展示を開催した。主な内容としては、狭山丘陵の身近なスミレ展やカブトムシ展、雑木林のツル植物展など、大人から子どもまで幅広く楽しめる企画展に取り組んだ。
地域公共施設を活用したイベント実施	長寿命化工事に伴い館内でのイベント開催が困難となったため、近隣の所沢市吾妻まちづくりセンターや所沢図書館吾妻分館を会場として借用し、イベントを実施した。
管理作業	・経年劣化した解説看板を2枚新規作成した。 ・スポット案内板1枚を新規作成した。 ・ビオトープ池の改修作業を実施した。 ・センターエリアの柵や杭を 59 箇所修繕した。 ・外来種の引き抜き作業を 25 回実施した。
その他	・猛暑対策として早朝に自然観察会を実施。 ・教員初任者研修会の受け入れ実施。 ・各管理地ならびにその周辺のナラ枯れ被害調査実施。 ・ナラ枯れ防止のための薬品注入実施。 ・東京都武蔵村山市主催　狭山丘陵観光連携事業推進協議会や東京都立狭山公園主催　狭山丘陵フェア実行委員会等に参加。

（1） 自然観察会等の実施

① 自然観察会等のイベント一覧

イベント実施状況は表 2 にまとめた。

表 2 イベント実施状況

イベント名	内　　容	参加人数	回数
基礎から学ぶ植物画講座	草花を画用紙に描写することで、植物の生態への理解を深める講座を行った。	116	13
植物画講座中級編	基礎から学ぶ植物講座のステップアップとして、中級編を行った。	164	13
生物多様性 狭山丘陵自然観察会	狭山丘陵の自然への理解を深めるために、一部の講座において専門家を講師として招き、実施した。	104	7
生物多様性 初めての自然観察会	小学生と保護者を対象にした、入門的な自然観察会を実施した。	59	5
里山体験講座	ネイチャークラフトや昔の里山の暮らし、年中行事等、地域の文化・習俗を体験する講座を行った。	44	2
行政や地域公共施設との連携イベント	地域の図書館や市役所と連携し、展示やイベントを行った。	5,014	12
いきふれボランティア 募集・養成講座	ボランティア募集の説明会と養成講座を連続して行い、新規ボランティアの育成に努めた。	18	3
生物多様性 ひよこ探検隊	未就学児とその保護者を対象にした自然観察会を行った。	12	1
狭山丘陵出前センター	文化祭やお祭りなどに出展し、狭山丘陵に関する展示を行った。	820	6
生物多様性 ガイドウォーク	申し込み不要で参加出来る自然観察会を行った。	94	17
環境教育活動の支援	幼稚園や小・中、大学などの各教育機関へ、環境教育活動への協力や支援を行った。	2,038	31
企業との連携イベント	ウォーキングや自然観察会を行った。	811	4
いきふれ探検隊森のクロスワードラリー	小学校の夏休み時期に、センターエリアを会場に生き物を題材とするクロスワードラリーを実施した。	38	1

※延べ 115 回 9,332 名　（天候不順により中止 3 回）

②　団体利用者への自然解説ならびに環境教育支援の実施

幼稚園や保育園、小学校、中学校、大学、一般団体などの利用及び施設見学者に対し、センターエリアのガイドやレクチャーなどを行った。特に、小・中学校へはワークシートを使った自然観察会や学校への職員派遣を行った。小中学校や大学への環境教育支援については、表3のとおりである。

表3　団体利用受入状況

区　分	幼稚園 保育園	小学校 中学校	大学等	一般	合　計
利用回数	46回	35回	1回	61回	143回
利用者数	796名	2,384名	23名	4,643名	7,846名

③　インターンシップの受け入れ

環境教育に必要な実践能力を育成するためインターン生を受け入れた。なお、長期修繕工事の期間中は、活動場所の確保が困難なことから受け入れを中止した(表4)。

表4インターン生受け入れ実施状況

学校名	実施日	人　数	内　容
所沢市上山口中学校	7/2-4	3名	園路巡回や柵管理、展示作成など

（2）展示、解説について

①展示について

狭山丘陵のスミレを紹介する企画展「身近なスミレ展」や「雑木林のつる植物展」を実施した。 また、「カブトムシ展」や「カイコ展示」など季節に応じた生態展示を計 8 回、映像を用いた展示を 3 回行った。野外展示を 21 回実施した。地域公共施設との連携においては、所沢図書館や所沢市役所において共同展示を行った。 なお、長期修繕工事の期間中は、触察剥製(実物標本)を活用したミニ展示「狭山丘陵の動物展」を実施した。

②館内解説の実施

館内解説や自然情報、ウォーキング地図の提供等を行った。詳細を表5にまとめた。

表5利用者への情報提供人数

内　容	人　数
館内解説、自然情報、周辺案内、自然一般の相談など	3,020人

（３）広報活動

①情報提供

「彩の国だより」や市報、雑誌、ミニコミ誌等へイベント情報や自然情報の提供を行った。また、コミュニティ FM（FM 茶笛）に毎月電話出演し、自然情報等の発信に努めた。 マスコミへの出演や取材協力、掲載実績等の実施状況は、表 6 のとおりである。

表 6-1 ラジオやテレビへの出演

種別	番組名	回数	内　　容
ラジオ	FM 茶笛（77.7MHz） とれたてラジオ	12 回	毎月第二木曜日センターの自然情報や見所案内、イベント情報の告知。
テレビ	株式会社テレビ埼玉 いまドッキ!埼玉	1 回	里山体験講座「郷土食ゆでまんじゅうを作ろう」の開催風景が、取材・放送された。

※延べ　出演回数：13 回

表 6-2 新聞や各種情報紙への掲載実績

冊　子	発行地域	形態	発行団体	掲載回数
広報ところざわ	所沢市	市報	所沢市	12 回
西埼玉ぱど	西埼玉	冊子	株式会社西埼玉ぱど	10 回
武州路	埼玉県	雑誌	株式会社冨士フォルム	9 回
彩の国だより	埼玉県	県報	埼玉県	5 回
読売新聞	埼玉県	全国	株式会社読売新聞社	3 回
るるぶ埼玉‘26	全国	冊子	株式会社 JTB パブリッシング	2 回

※延べ　掲載回数：41 回

表 6-3 マスコミ等への情報提供

マスコミ紙	回数	内　容
西埼玉ぱど	12 回	イベント募集のお知らせ
所沢記者クラブ	4 回	シダ展示や図書館と作成した絵本詳細冊子について

※延べ 16 回

表 6-4 イベントチラシの作成実績

チラシ	数量	内 容
年間観察会チラシ（A5）	2,500 枚	自然観察会を周知するために、県内外に広く配布。
イベント告知ポスター（A1）	26 枚	各月のイベント紹介やボランティア募集の告知。

② 広報紙等の発行と配布

「いきふれ通信」を年4回（計10,000部）発行し、所沢市内の全図書館をはじめ、埼玉県内の主要な博物館・資料館、首都圏の関連施設など47箇所に配布した。

③ センターホームページの運営

イベントの予定や実施状況等を周知するため、ホームページおよび SNS（Instagram、Facebook）の運用を行った。また、ホームページの改ざん防止等の安全確保を目的として、システムの脆弱性対応や基本ソフトの定期更新、適切な管理に努めた。更新回数は表 7-1、閲覧状況は表 7-2 のとおりである。

表 7-1 ホームページ更新

内　容	更新回数
自然情報、イベント予定・報告、ボランティア活動報告など	159 回

表 7-2 ホームページへの閲覧状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
月　間 閲覧数	3,691	4,910	5,676	5,588	4,436	4,614	4,720	3,503	2,782	3,356	2,820	2,832

※累計 48,928 回

（4）関係団体との協働

①埼玉県狭山丘陵いきふれの会

ボランティア募集説明会および養成講座を開催し、今期は新たに 6 名が会員に加わった（総登録者数 36 名）。センター管理地の各スポットエリアを中心に、年間を通じて定期的な巡回や行事補助、外来種除去作業等に協力を得た。活動状況の詳細は表 8 のとおりである。

表 8 ボランティアとの活動実施状況

主な活動分野	実施回数	参加者	主な内容
巡回・情報収集	4 回	13 名	各スポットの巡回や自然情報の収集
行事補助	13 回	29 名	自然観察会などの補助
作業会	7 回	42 名	外来種除去作業や園地管理作業
全大会会議、その他	10 回	114 名	勉強会や巡回報告など

※延べ活動数：34 回　延べ人数：198 名

②「堅香子の会」や「ふれ炭会」との協力

・堅香子の会：植物画講座への講師派遣や植物画の原画貸出に協力を得た。
・ふれ炭 会 ：学生団体の受け入れや間伐材の有効利用等に協力を得た。

③行政や地域公共施設、企業との連携イベント

所沢図書館吾妻分館と連携し、狭山丘陵を絵本で紹介するパンフレットを制作した。狭山丘陵観光連携事業推進協議会や狭山丘陵フェア実行委員会、東京都生物多様性事業連絡会に参加し、関係機関との情報交換を行った。行政や地域公共施設との連携状況は表 9 に、企業との連携イベントは表 10 にまとめた。

表 9　行政や地域公共施設との連携イベント

団体名	イベント名	実施日	参加者	内　　容
所沢市	所沢市環境ギャラリー トコロの森ミュージアム	9/3～ 9/12	3,549 名	所沢市役所ロビーにてツル植物を展示し解説を実施。
	所沢市みどりのふれあいウォーキング	11/8	1,375 名	SP2 にて自然解説を実施。
所沢図書館吾妻分館	はじめての虫かんさつ	7/27	64 名	小学生を対象にした虫観察会を実施。
埼玉県教育委員会	埼玉県教職員初任者研修	8/8	5 名	研修会を企画、運営。
三芳町教育委員会	学校との環境教育について	10/9	6 名	環境学習事業を視察。

表 10　主な企業との連携イベント

団体名	イベント名	実施日	参加者	内　　容
学校法人自由学園	狭山丘陵実習	7/5	14 名	社会人生徒の受け入れと実習。
所沢青年会議所	狭山丘陵と大島	7/13	39 名	狭山丘陵の自然を紹介。
西武鉄道株式会社	八国山緑地から荒幡富士へ	9/10	730 名	自然解説を実施。
公益財団法人 ほほえみの森財団	里山の落葉と焼き芋	3/7	28 名	落葉掃きと焼き芋づくり。

（5）運営協議会の開催

当センターの円滑な管理運営の推進と、施設の有効活用を図るために、埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター運営協議会を 10 月と 3 月に開催した。

・協議会委員:学識経験者、地域団体及びセンターボランティア団体の代表者、地元学校長等　計10 名

・協議事項:事業実施状況、自主事業へのアドバイス、管理運営の方向性等について

（6） 施設の維持管理

①保守点検業務

施設の維持管理（夜間警備や空調設備、消防設備の保守点検、施設の清掃）については、それぞれの専門業者に委託することにより適正な管理を行った。

② 地震や火災などの対策

消防署を招いての通報訓練や消火訓練、避難誘導訓練、および AED を用いた心肺蘇生訓練を行った。また、熱中症による作業中の事故を防止するため、対応マニュアルを作成し、机上での模擬訓練を行った。

③ 園地管理

日常的に管理地内を巡回し、草刈や杭と横木の交換、外来種の引抜き等を実施した。特に、内部改修工事の期間中には、杭と横木の交換を重点的に実施した。主な実績は表 11-1、新設および更新した看板については表 11-2 にまとめた。

表 11-1 園地管理の主な内容

場 所	項 目	数 量	内 容
センターエリア	草刈り	31 回	園路や施設屋根の除草。
	杭と横木(木柵)	59 本	破損柵を交換。
	外来種の引抜き	25 回	セリバヒエンソウ抜き。
	看板、階段	5 箇所	解説看板と階段修理。
	剪定	8 回	植栽木や茶の木の剪定
	倒木、落枝対応	3 回	ナラ枯れにより発生。
	ナラ枯れ予防対応	2 回	薬剤注入。
	その他	6 回	ベンチ清掃、人工池の修理。
スポット 1	看板	2 か所	解説看板、指導標を修理
スポット2	草刈り	2 回	園路の除草。
	倒木・落枝対応	1 回	ナラ枯れにより発生。
スポット3	草刈り	2 回	園路の除草。
	倒木・落枝対応	4 回	ナラ枯れにより発生。
スポット5	草刈り	2 回	園路の除草。

表 11-2 新設および更新、修繕した看板

場 所	項 目	数 量	内 容
スポット1	指導標盤面	1枚	指導標盤面を更新した。
	解説看板盤面	1枚	狭山湖周辺で観察できる動植物の解説看板を修繕した。
スポット2	解説看板盤面	2 枚	身近な生きものを解説する解説看板の盤面を新規に作成した。
	スポット紹介板	1 枚	スポット 2 を紹介する解説盤面を新規に作成した。
センターエリア	車止め看板	1 枚	車止めとエリア紹介とを兼ねた看板を新規作成し現地へ設置した。
	丸太看板	1 枚	施設名が刻印された丸太看板の再塗装を実施した。

（７）災害時等の緊急時の対応

大型台風の接近に際しては、施設玄関付近への土嚢設置や事前巡回等を実施した。また、緊急対応に備え、関係機関との連携確認やチェンソー等の備品整備を行った。台風通過後は速やかに施設および管理地を巡回して安全確保に努め、園路上空の掛かり枝や倒木の除去等を実施した。収集した園路情報はホームページを通じて周知を図り、利用者の安全確保に努めた。

（８）その他の自主事業

①頒布物について

狭山丘陵の自然の魅力を伝えるため、新たに「狭山丘陵のシダ手ぬぐい」を頒布した。その他、「身近なスミレを紹介するクリアファイル」や「狭山丘陵いきものふれあいの里の植物」、「各種ハンドブック（野鳥、シダ植物）」、「植物画を用いたハガキ」、「一筆箋等」の頒布を行い、自然情報の普及啓発に努めた。

②萌芽更新完了後の追跡調査

「身近なみどり保全創出事業」にて所沢市が実施したセンターエリアの萌芽更新地区において、植生調査および種名の記録を行った。調査結果を今後の管理作業の参考にするため、所沢市みどり自然課へ報告を実施した。 全体的な傾向として、樹木の生長に伴い、草本類が減少傾向にあり、好光性の木本の淘汰も始まっていることが確認された。

③ナラ枯れ拡大防止のための取り組み

ナラ枯れによる倒木や落枝などが多数確認されている。施設などへの被害を防ぐため、ナラ枯れ防止薬剤の注入、館内展示による周知、被害調査、および利用者への情報提供を行った。主な実績は表 12 のとおりである。

表 12　取り組み内容

場　所	項　目	数　量	内　　容
センターエリア	ナラ枯れ防止薬剤の注入	2 本	ナラ菌の増殖を防ぐための薬剤を注入。
センターエリア	館内展示	－	ナラ枯れとは。カシノナガキクイムシについて
各　管　理　地	ナラ枯れ被害木調査	6 箇所	各管理地にてナラ枯れ確認

２　施設の利用状況

①　利用者別利用状況

区分	大人			小人（中学生以下）			合計
	一般	団体	計	一般	団体	計	
入館者数	11,329	9,632	20,961	2,327	3,710	6,037	26,998

※埼玉県営繕課発注の長寿命化工事（第一期内部改修工事）が実施された。
工事期間中は、事務所や講義室、スタッフルームは使用停止になり、展示室は面積を縮小し運営を継続した。
・工事期間：2025 年 11 月 4 日～2026 年 3 月 13 日